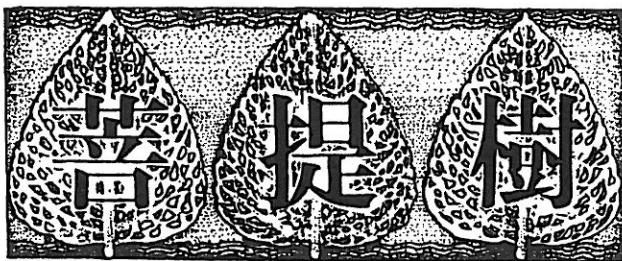
H/13
9/21

第十五号

図章デザイン 人間国宝 田村耕一先生



発行者／学校法人 吞龍幼稚園
 岐阜県佐野市大祝町2312
 TEL 0283 (22) 0149
 FAX 0283 (24) 8569
 E-mail ; donryu3@maple.ocn.ne.jp
 編集責任者／小林研介
 保護者会広報
 題字デザイン／足利短大教授
 武井宏允先生
 印刷所／荒畠印刷所

自然が育てる！自然で育つ！



渡良瀬川のコスモス畑



中禅寺湖の冬



湯元スキー場でそり遊び



土手で遊ぶ

宝龍寺は第四代の住職に玄蕃で有名な吞龍上人が居られた。年々九月八日に大祭を続けてきたが、「生命尊重」の精神を今に活かすには春龍様のお堂を子ども達に開放して、子ども達の集まる場所にしたいとの念願から、当時の佐野市長小泉善一郎氏を会長とする吞龍愛育会が昭和二十八年に結成され、会員の師弟を集めめて幼児保育の場が提供されることになった。翌年昭和二十九年に新しい園舎が作られ、吞龍幼稚園として出発することになった。当時は三千名に満たない幼稚園としての出発であったが、園児が百名に達するには十年の歳月が必要であった。この時代は、幼稚園に対する国や県や市の補助金は全くなかったので園舎を建築するには資金の面で大変苦労した。このため寺からの借り入れや、父母会役員会には大変お世話になり、学校債の発行で保護者の方々から大変なご協力をいただいた。

私は昭和三十年から岐阜県私立幼稚園連合会の役員を務めたが、研究委員長から昭和四十八年には社団法人岐阜県私立幼稚園連合会の会長に就任した。それまでの経験から父母の負担を軽減するためには、国や県や市町村の公的補助金が必要不可欠のものと考え、就園奨励費補助金の獲得や経常費補助金の増額を国に働きかけ、私立大学と協力して全私学の発展に力を尽くした。この間、幼稚園教育の内容を充実させるには教員の資質の向上と養成が必要なことから、足利短期大学幼稚教育科の教授や学長の役割も担ってきた。四十年間、吞龍幼稚園の園長もつとめたが、一九九三年三月に退職し、現研介園長が後を引き継ぐことになった。

少子化の中で園の経営も大変になつてきているが、吞龍幼稚園は新進気鋭と創意に富む園長と教職員それに日本一の保護者（これは日本全国の講演会などで私が言つてることだ）のコンビで子どもも親も楽しめる幼稚園として発展していることは頼もしい。近く創立五十周年も来るるので新園舎の設立も計画されているが、その完成が望まれる。

四十八年を振り返つて感想をという園長からの指示なのでその一端を述べた次第である。

48年の歳月の流れ

学校法人 吞龍愛育会

理事長 小林龍雄

戦争（太平洋戦争）は終わつたものの昭和20年代は戦争の被害がいたるところで見受けられた。食料や衣類の不足は言うまでもないが、巷には傷痍軍人の揺々しい姿や浮浪児があふれ、子ども達の遊び場もない。だが私たちは日本の未来を子ども達に見出そうとした。

実況中継

「父の日感謝パーティ」

=母のサービスで父と子は元気一杯=

香竜幼稚園って外から見るとどんな風に見えているのでしょうか?
今年度の「父の日」を取材した幼稚園の情報誌「月刊 私立幼稚園」(片岡 進編集長)
の2000年10月号からの当園の記事をご紹介いたします。

胸にドン竜ちゃんバツチ

前夜までのドシャ降りが止んで快晴になつた6月18日(日)、淨土宗・宝龍寺に隣接する園庭には朝早くからいくつものテンントが建てられ、エプロン姿のお母さん方がパーティの準備で動き回っていた。どの人を見ても動きに無駄がなく、実際にテキパキとしていて、それでいて笑顔が絶えない。エプロンの胸にはユーモラスなマスコット「トン童ちゃん」を描いたぬいのバッヂもついていて、まさにドランゴの鼻息みなみに気合いが入っている



▲個性的で芸達者、それでいて気配り十分な呑竜幼稚園の先生方。前方中央が小林研介園長

お母さん方はかりたと見えてしまうが、ふだんはオーフリー、でいて□数も少ないんですね。―― ネルギーを無駄に使わないでやるときややるのよ、のタイ、が多いんですね。だから、お母さん同士がこんなに接近して、勢い余つてトラブルを起こす、うなことは、まずありません」 小林園長は言う。

ちなみに月2回のお弁当休日の日は、給食センターの仕出し弁当を注文するのではなく、バン屋さんにホットドックを作ってもらったり、マクドナルドのハンバーガーを買ってたりするという。それもまた楽しそうだが、冬になるとお母さん方の有志が交代で、温かいランチをする

理的の結論すが酒する。 9時 裏木戸へ来でき学校体動会が来るならと子がフト作間に、バーテるところの方々が応えます。



▲母は暑さに強く、腕っぷしも強い。熱い大鍋を揺すってポップコーンを作っているのを。



▲隣の小学校の体育館でミニ運動会。お父さん達の凄いパワーを子どもは真剣に楽しむ



▲年長親子のクラフトタイムは、精密な長方体積み木「カブラ」を使っての造形活動

子、カラ揚げ、枝豆、赤飯などを売る屋台が一斉に活気つく。母の会からはバーベキュー、オヤジの会からは焼きトリが無料提供され、生ビールは500円で飲み放題だ。

在園児と卒園児でつくる春万台では、桑のみじゅみのパンケーキや、尿素と水を化合させる“携帯クーラー”が実演販売され、お父さん方の関心を呼んでいた。



▲この焼きそばとBBQコーナーがパーティのメイン屋台のようだった。

—呑竜のママ・パパ—

これが私の名育て。

感謝の気持ちをもつて

年長 工藤 礼子



竜のもと、呑竜美人勢ぞろい！ プラス3男

母親は、園の行事など、なかなか参加できることないという

車で行ってしまう。私の子供の頃は、地方に比較して、都会の子はひ弱なやしき子撫養されたものだが、現在では、逆現象が起きている様な気がする。

都市では、歩くは極普通の事なのに、佐野ではいつも歩いてい

る私の一人の子供達は、とても珍しい存在の様である。確かに車は便利であるが、幼児期に子供を歩かせる事は心身の鍛錬になると思つていて、これだけは、郷に入つては郷に従えといかないでのある。

私は、正直言つて、今とでも不安である。佐野は子供を育てるには、様々な面で良い環境であります。どうも難いからである。

ただ、どんな環境においても、できる限りの教育を与えてあげて、社会に出たら、バラサイト・シングルなどは以外の外、

命働いてくれたお陰でみんなでディズニーランドに行きました。楽しい

学生の息子が作文にこんな事を書いていました。「お父さん達が一生懸命働いてくれたお母さん達が大変だなあ」と自然に思つてくる事があります。

先日、小

夫は夜中まで残業

したり、私は休日も仕事をする事が

あります。そんな

事も仕事をする事が

あります。

我が家は自営業で、自宅の隣

育ての理想と現実の落差に悩み、後悔が尽きる事がない。

先日、新聞の論説にいじめ、少年非行が都市部より地方において、顕著に増加しており、その一因が車社会と個室にあると

論じる物があつたが、私は佐野に来て愕然としたのが車である。歩いて五分十分の所でも

車で行ってしまう。我が家は工場があります。そこで、子供達は、工場の手伝いをしてくる事があります。

思つてくる事が

あります。

思つてくる事が

あります。

将来はJリーグか？呑竜Jリーガーだと

思つてくる事があります。先日、小

夫は夜中まで残業したり、私は休日も仕事をする事が

あります。そんな事も仕事をする事が

あります。

我が家は自営業で、自宅の隣

あります。

夫は夜中まで残業

したり、私は休日も仕事をする事が

あります。

思つてくる事が

あります。

思つてくる事が